

# 千葉県立美術館の活性化について（取組状況の報告）

令和5年1月12日  
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

千葉県では、「県立博物館・美術館の今後の在り方」（令和3年3月 千葉県生涯学習審議会第三次答申）を踏まえつつ、美術館の専門家による有識者の皆様から御意見をいただくため、令和3年12月に千葉県立美術館アドバイザリー会議を立ち上げ、県立美術館の今後の在り方について検討を進めています。

これまで、県立美術館の今後の方向性を提示して御意見をいただくとともに、先行して着手できる事項として、令和4年度9月補正予算で周辺整備費用を事業化し、地域と一体となった美術館の実現に向けて取り組んでいます。

## 1 アドバイザリー会議での主な委員意見

- ・アート概念の拡大に対応できていない。
- ・美術団体の交流を図り、美術の大衆化を進める拠点は実現できていない。
- ・建物のポテンシャルを活かせていない。
- ・外部人材・能力の活用ができていない。
- ・地域全体としての活性化の可能性はある。まわりの環境ともっと対話していると良い。

### （構成）

- 座長 青柳 正規（山梨県立美術館長、石川県立美術館長、学校法人多摩美術大学理事長）  
委員 一條 彰子（独立行政法人国立美術館本部 学芸担当課長）  
委員 貝塚 健（アーティゾン美術館 学芸員）  
委員 古田 亮（東京藝術大学大学美術館 教授）  
委員 保坂 健二郎（滋賀県立美術館長（ディレクター））  
委員 水沢 勉（神奈川県立近代美術館長）  
委員 森川 嘉一郎（明治大学国際日本学部 准教授）

## 2 県立美術館の今後の方向性（第4回県立美術館アドバイザリー会議で提示）【別紙参照】

- （1）新たな出会い、発見の場を目指す
- （2）県内のアートプロジェクトの拠点をを目指す
- （3）次世代の若手作家を育てる

## 3 令和4年度9月補正予算による周辺整備の概要

- ・ポートパーク連絡通路改修
- ・アート体験遊具・屋外テーブルの設置等
- ・周辺観光に繋げる屋外サインの設置

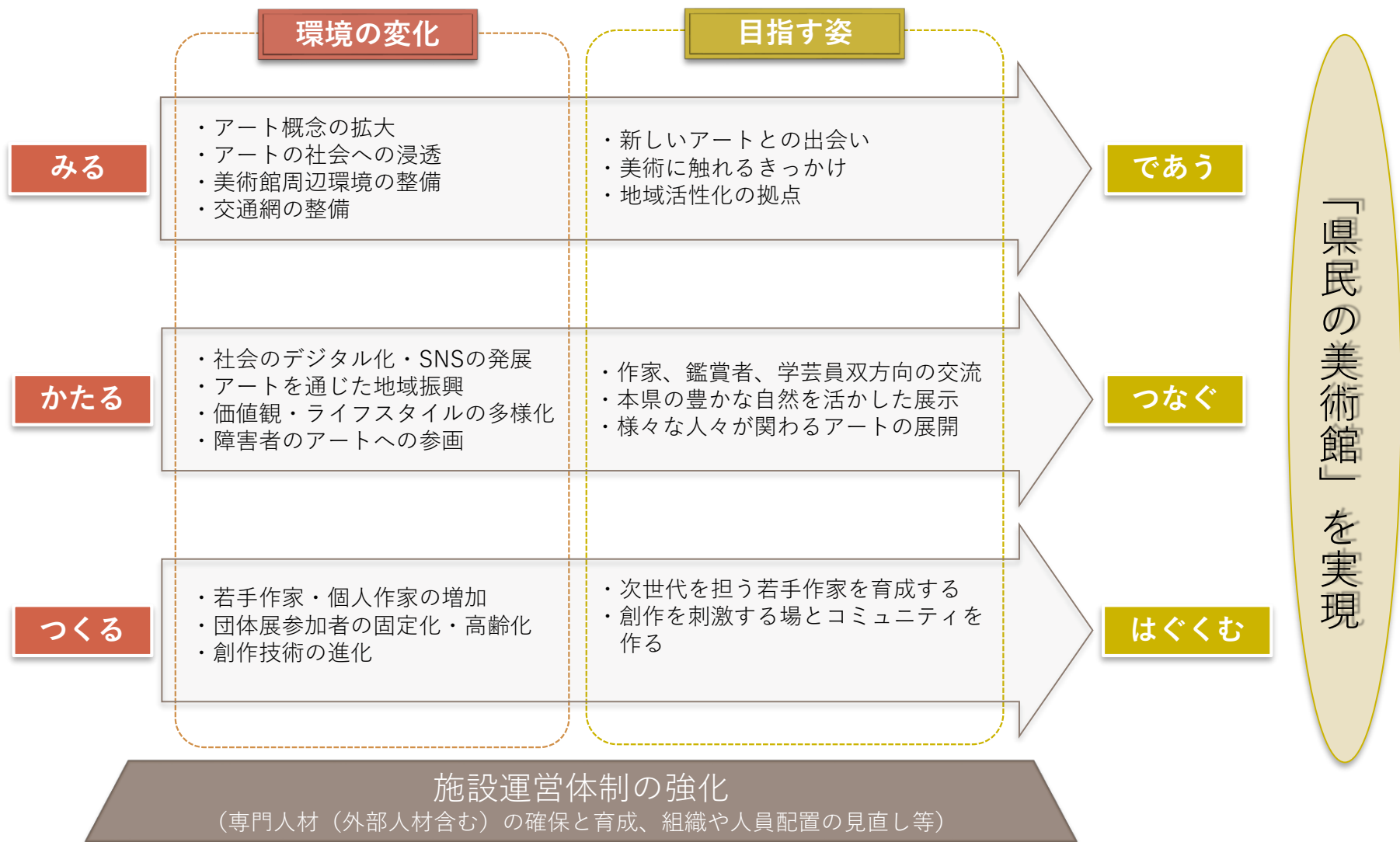
## 4 今後のスケジュール

年度	令和3年度		令和4年度			令和5年度
会議	第1回 12/22	第2回 3/16	第3回 5/11	第4回 8/29	第5回 1月下旬予定	
美術館活性化基本構想					骨子策定	骨子をもとに構想を策定

会議での意見をもとに、令和4年度中に「(仮称)千葉県立美術館活性化基本構想骨子」を策定予定。

## 4. 2040年に目指す姿(1)

～運営体制の強化を図り、「みる・かたる・つくる」の理念をアップデートする～



## 4. 2040年に目指す姿(2)

開館当初の理念にもう一度立ち返りつつ、今の時代に適合した「県民の美術館」を実現する。

### 【であう】新たな出会い、発見の場を目指す

- 近代洋画など、これまで収集してきた作品が活用されるとともに、千葉県出身の作家に特化することなく、現代美術など新しいアートの作品が充実している。
- いつ来ても新しいジャンル、作家、作品に出会うきっかけを得る機会がある。
- 千葉文化資産や、音楽、海・食文化、デザイン等の県内文化とアートの融合などにより、本県ならではのアートシーンが創出され、美術への関心が薄い人も美術に出会う驚きと感動が得られる。
- 地域の核となるような施設であるとともに、レストランやショップの魅力が高まっている。

### 【つなぐ】県内のアートプロジェクトの拠点を目指す

- 美術館にとどまらず、首都圏にありながら豊かな自然を有する本県の豊かな特色が活かされ、野外空間での展示などにより本県ならではのアートシーンが創出されている。
- 県内若手アーティストや障害者、外国人、県内大学、学芸員など、様々な人々が関わりながらアートが展開され、かつ、それを誘発する機能を有するコミュニティがある。
- アートを通じた社会課題解決への関心が提起されている。

### 【はぐくむ】次世代の若手作家を育てる

- 次世代を担う若手作家が磨き上げられ、世界へ羽ばたいている。
- 国内外の作家による滞在制作など、創作を刺激する作家や作品、情報と出会える場がある。
- 若手作家同士のコミュニティが生まれ、活動が活発に行われる場がある。

## 千葉県立中央博物館の機能強化について（取組状況の報告）

令和5年1月12日  
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

千葉県では、令和2年9月に県教育委員会が策定した「千葉県立博物館の今後の在り方」に基づき、県立中央博物館の機能強化を図り、魅力を向上させるための方策の基本的な考え方を「千葉県立中央博物館機能強化実施方策（仮称）」として、今年度中に取りまとめるべく検討を進めています。

これにより、県内博物館の拠点としての県立中央博物館の機能を高め、①これまで分館等が果たしてきた役割を継承し、②専門職員が活躍できる環境整備を図る、などの機能強化を果たしてまいります。

### 1 中央博物館機能強化検討会議

令和4年9月から11月までの間、中央博物館、現代産業科学館、関宿城博物館及び文化振興課の職員をメンバーとする中央博物館機能強化検討会議を5回開催し、中央博物館の具体的な機能強化策について検討を行った。

### 2 内容

令和2年9月に県教育委員会が策定した「千葉県立博物館の今後の在り方」に基づき、中央博物館の基本目標や目標達成に必要な機能、管理運営、施設整備等について検討を行った。

（構成）

- （1）中央博物館の基本目標
- （2）目標達成に必要な博物館機能
- （3）管理運営
  - ア 運営形態
  - イ 人事
  - ウ 組織
  - エ 民間連携等
- （4）施設整備
  - ア 常設展示室
  - イ 企画展示室
  - ウ 収蔵庫
  - エ その他

### 3 スケジュール

今後は、年度内に「千葉県立中央博物館機能強化実施方策（仮称）」として取りまとめた上で、来年度以降、中央博物館のリニューアルに向けた基本計画を策定していく予定。